



2015~16年度 D-2700 No. 17 2015年12月4日

小倉ロータリークラブ 週報

世界へのプレゼントになろう

R I テーマ：“世界へのプレゼントになろう”

R I 会長：K.R.”ラビ”ラビンドラン氏
(所属：COLOMBO RC)

地区テーマ：“考え方ロータリーの多様性と クラブの主体性を”

地区ガバナー：本田 正寛 氏 (所属：福岡 RC)

クラブテーマ：“与えよう、ロータリアンとしての ステイタスを自覚して”

会長 鮎見 進一／幹事 森 浩明



表紙写真説明(テーマ/九州場所横綱土俵入り)

二場所休場しての優勝力士となった日馬富士の千秋楽の土俵入りです。この時点では、白鵬・松鳳山と3名の優勝争いでしたが、3名とも負けて日馬富士が優勝しました。

【撮影：辰巳会員 2015年11月22日 福岡国際センター 九州場所】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30～13:30

事務局 e-MAIL : krc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：長森 健 副委員長：外堀 隆博

委 員：難波 幸雄・三角 勝信・玉井 行人・田中 信也・佐久間 康和・中島 裕幸



四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3243回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・年次総会
- ・卓話 原口 和史 氏
　　日本海員掖済会 門司掖済会病院
　　副院長

会長の時間

鮎見 進一 会長

まずは日曜日にブルーノーツの定期演奏会にわざわざ足を運んでいただきました方に御礼申し上げます。無事成功裡に終えることができました。翌月曜日は勤労感謝の日でしたので、劇場版 MOZU を家内と観に行ってきました。ということで、今日は勤労感謝の日についてお話しします。

勤労感謝の日は、「勤労をたとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨とし、1948年(昭和23年)に制定されました。

農業国家である日本は、古くから神々に五穀の収穫を祝う風習がありました。また、その年の収穫物は国家としてもそれからの一年を養う大切な蓄えとなることから、収穫物に感謝する大事な行事として飛鳥時代の皇極天皇の時代に新嘗祭の日として始まりました。その後、第二次世界大戦後のGHQの占領政策によって、天皇行事・国事行為から切り離される形で改められたものが「勤労感謝の日」です。

新嘗祭は1872年(明治4年)までは旧暦11月の2回目の卯の日に行われていました。1873年に太陽暦が導

第3242回 例会 記録

11月27日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “2700 のマーチ”
- ・卓話 安永 浩善 氏
　　北九州市 港湾空港局 空港企画部
　　空港機能強化担当部長

入されましたが、そのままで新嘗祭が翌年1月になつて都合が悪いということで、新暦11月の2回目の卯の日に行うこととしました。それが1873年は11月23日でした。しかし、翌1874年からは11月23日に固定して行われるようになったとのことです。11月23日という日付自体に深い意味は無く、たまたま日本が太陽暦を導入した年の11月の2回目の卯の日が11月23日だっただけのことだそうです。なぜ「新嘗祭」から「勤労感謝の日」という名前に変わったのかというと、農業中心の時代には、農作物の収穫を祝う行事はとても大事にされてきましたが、時代が進むにつれ、農業だけでなく産業や色々なサービス業も誕生した事から「新嘗祭」から「勤労感謝の日」へ名前が変更される事になったそうです。

幹事報告

森 幹事

- ・新年初例会のご案内を本日配布しています。例年、1月初めの例会は新年祈願を行い、懇親会では年男をお祝いします。今年度も、1月8日に松柏園ホテルにて行います。皆様、ぜひ出席ください。
- ・八幡中央RCより創立40周年記念の式典および祝賀会のご案内が届いています。日時は来年の1月24日(日)で、場所は北九州八幡ロイヤルホテル、登録料1万円です。八幡製鐵所の工場見学と記念講演も企画されています。ご参加を希望される方は、私または事務局へお声をかけください。

出席報告

合馬 委員長

2015年7月1日：63名でスタート

| | 会員数 | 出席者数 | メークアップ [°] | 出席率 |
|-------|-----|------|---------------------|---------------|
| 当日の出席 | 68名 | 42名 | — | 75.00% |
| 先週の出席 | 68名 | 39名 | 25名 | 90.90% 修正後 |

◆ゲスト 2名

- ・卓話者
- ・佐藤 隆（北九州市港湾空港局）
- ◆ビジター 0名

委員会報告

職業奉仕委員会

例年、小倉RCでは優良従業員表彰を行っています。今年度は1月15日です。どなたかご推薦できる優良な従業員がいらっしゃいましたら、私または事務局へお声かけ下さい。よろしくお願ひ致します。



ニコニコ献金

坪根 副SAA

12,000円：累計金額 244,550円

鰐見 進一 君

先日の九州歯科大学ブルーノーツの定期演奏会において下さいました、原田(光)さん、木曾さん、森さん、ありがとうございました。

森 浩明 君

鰐見会長・坪根会員、先日の九州歯科大学ブルーノーツの皆様の、第60回定期演奏会、素晴らしい演奏でした。会場では、原田(光)さん、木曾さんご夫妻とも一緒にになりました。鰐見会長のドラム、坪根さんのソロ演奏、最高でした。ありがとうございます。

原田 光久 君

ブルーノーツ演奏会、楽しませていただきました。

辰巳 和正 君

11月22日、九州場所千秋楽を観戦してきました。芝田山部屋の打上げパーティーも参加し、その後で芝田山親方と忘年会をやりました。九州場所での所属力士は好成績が多くて、明るい打上げパーティーでした。

木曾 長 君

九州歯科大学ブルーノーツ演奏会、ドラムの鰐見さん、テナーサックスの坪根さん、素晴らしい演奏ありがとうございました。12月17日の家族会での演奏も宜しくお願い致します。本当に素晴らしい、家族全員で楽しみました。

卓話

北九州市 港湾空港局 空港企画部

空港機能強化担当部長

安永 浩善 氏

『開港10周年を迎えて 北九州空港』



北九州空港は来年3月16日、沖合人工島に移転後10周年を迎えます。これまでご愛顧くださった皆さまへ感謝を申し上げるとともに、次の10周年に向けて路線誘致・利用促進・集客活動を行い、利便性の向上・雇用拡大、ひいては地域のGDP拡大につなげていきたいと考えております。

今回、北九州空港を取り巻く最新の状況、トピックスを交えてご案内させていただくと共に、北九州空港にとって8年振りの名古屋小牧路線就航の報告と利用促進のお願いをさせて頂きます。

北九州空港は、近接する福岡空港の影響を受けやすいものの、本年3月の福岡空港の混雑空港の指定を受け、新規の就航に制約が大きくなると予想されること

から、福岡空港から溢れ出す航空需要は、同じ福岡県内にある北九州空港で確実に取り込んで行かなければなりません。そのような意味でも今後、福岡空港との協調が必要となってまいります。そのため福岡県が策定した「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、今後、「北九州空港将来ビジョン～3つの将来像～」の実現に向けて全力で取り組んでいきたいと思います。

さらに本年3月にFDA北九州＝名古屋小牧路線が就航しました。名古屋小牧線を利用することで名古屋市内だけでなく、白川郷・飛騨高山・穂高・伊勢志摩などへ手軽に日帰りや1泊2日の旅行ができます。

以上、北九州地域が交通の結節点として発展を遂げた歴史から、航空機時代への変貌等今後の空港機能の重要性について、お話をさせていただきました。最後にくりかえしになりますが、まずは本年3月に新規就航しました北九州＝名古屋小牧線の路線維持を図るべく、皆様方のお力を名古屋小牧路線のご利用にもお貸しいただけるように重ね重ねお願い申し上げます。

第2700地区 職業奉仕セミナー 報告

日 時：11月28日(土) 14時～17時

場 所：アクア博多(福岡市博多区中洲5-3-8)

参加者：二村職業奉仕委員長、原田(光)副委員長

モンゴルで学校を経営し、「人づくり」の観点より職業奉仕を実践されているジャンチブ・ガルバドラッハ氏(フレーRC会長)の講演がありました。

彼は、1996年3月より日本の山形大学に留学され、大学院を卒業されました。留学した時は、小さい子供達も連れて来られ、留学生活は苦しかったそうです。朝は新聞配達をし、放課後は運送屋のアルバイト、その後に居酒屋のアルバイトを掛け持ちしていました。1998年7月に米山奨学生に選ばれました。3か所のアルバイト給与の総額と奨学金が同じくらいの金額で、とても有難かったです。米山記念奨学金を使用させて頂き、非常に感謝しております、自分は運が良いと思っているとのことでした。

その後、モンゴルに戻られ、新モンゴル高校を創立したそうです。留学中に日本の教育制度が素晴らしいと感じた為、日本式の制度を取り入れて理想的な学校を作ったそうです。その資金は、RCや日本の一般の人からも募りました。

学校の卒業生には優秀な生徒が沢山輩出され、その中には日本に留学した人も大勢いるとのことでした。ジャンチブ氏の長女も現在、九州大学に通われています。

RCの会員さんは、ぜひモンゴルに来て、例会に来られてください、とのことです。50代の若い方ですが、

非常にやる気があるバイタリティがあり、自分の良いと思うことを取り入れ、失敗を恐れずにやっていく、武道家のような方だと感じました。自分もそのようにやっていきたいと思いました。【報告者：二村】

秋の日帰り旅行 報告

日 時：11月29日(日) 8時30分～18時50分

場 所：糸島～太宰府

参加者：鰐見夫妻、小島夫妻、伊与田、八尋、加藤(守)、松本夫妻、角南夫妻、末廣、松永、坪根、合馬、事務局

当日はお天気に恵まれ、定刻通りにリーガロイヤルホテル小倉からバスで出発しました。

まず向かったのは、明治三年創業、140年の歴史を刻んだ博多の造り酒屋「杉能舎(すぎのや)」です。地酒やリキュールの試飲が沢山あり、スープと



入る飲み心地でどんどん進みました。飲み続けてクラッときた会員もいたようです。この時期限定のお酒も人気でした。全国で金賞を受賞したお酒や、九州大学と共同で作った辛口のお酒、一番人気のチョコレートリキュールがあり、松永会員が年忘れ夜間例会の抽選の景品用に購入されていました。皆さん、期待されて下さい。

昼は、海辺に面した絶景のオーベルジュ「僧伽小野(さんがおの)」で食事をしました。海の幸、山の幸はどう





れもが糸島産で、旬の素材を活かした土地の恵みを味わいました。また、特に、刺身・鯛めし・デザートが美味しかったです。また、ご参加されたご夫人の方々と共に酒を飲ませて頂いて、嬉しかったです。

静かな海を背景に集合写真を撮りました。美しい女性さんも一緒に写っています。海では、牡蠣の養殖の風景も見られました。



一行はその後、バスで太宰府に向かいました。事前に有岡会員よ



り観光案内の地図をご用意いただき、耳より情報を聞いていましたので、かなり参考にさせて頂きました。日本最古の梵鐘のある觀世音寺、天下三戒壇といわれた戒壇院、言わずと知れた学問の神様をまつる太宰府天満宮などをお参りしました。觀世音寺の静かな佇まいに千年の歴史を感じました。また、参道で行列を作



っていた「かさの家」の梅が枝餅は、皮が焼き立てサクサクで美味しかったです。有岡会員、情報をありがとうございました。

九州国立博物館では「美の国 日本」の最終日で、拝観された方もいらっしゃいました。一日を通して、どれも楽しい旅行で、企画された松本親睦活動委員長にお札を申し上げます。

【報告者：加藤(守)】



【次回例会予告】

- 12月11日（金）普通例会
・ロータリーソング “我らの生業”
・卓話 廣重悟 氏
第2700地区 社会奉仕委員長